

12月6日定例会合議事録

2013年12月9日

日本ネパール友好協会 事務局

開催日時：2013年12月6日（金曜日） 19:00～21:00

開催場所：立川市柴崎会館 3階 会議室

出席者：渡部調匡、長野 寛、山口善英、中嶋節子、江袋美恵子、関矢モヨ、中嶋政代、曾根要子、松下訓子、久保田忠義、澤 圭子、松村鈴子、綾部直明、増田正三郎 14名

議事：

■2013年度事業計画の進捗状況について

- 経常収益実績は、予算比 90.9%（会費・寄附金予算比 74.3%、その他事業予算比128.0%）でした。経常費用は、予算比 45.2%に抑え、当初目標とした今年度就学支援額600千円贈呈は、予定通り行えることとなりました。
- 平成25年度秋の楽市2日間の売上高は、100千円で差引利益は52千円でした。なお、同時開催の「ネコボラ」からは、40千円もの多額のご寄附を頂きました。
- 賛助会員数は、12月8日現在157名となっています。

■2014年度事業計画について

*出席者の皆様から多くの建設的なご意見が出て、以下のことが確認されました。

○会員開拓について

- ①ネパール国の実状と当協会の活動をより多くの方々にお伝えするための方法を多角的に講じる。⇒「ホームページの充実」「案内パンフの設置場所増設」など。
- ②会報の年2回発行によるわかりやすい活動報告を通じて紹介の輪を拡げると共に紹介者及び事務局と会員との双方向の情報交換が行えることを目指す。
- ③参加し易い定例会合日程の設定等により会員が参加し易くする。⇒会員の得意な技能を活かせるようにし、事業の継続を大前提に後継者につなげられる柔軟な組織創りと拠点となる「事務所」設置を可能にする費用を確保する施策を講じる。

○事業収益の確保について

- ①真乗プロジェクト助成金申請を行うことが決まりました。
⇒2014年1月15日（水）の応募申請書提出締切までに、事務局で案を作成、臨時理事会を開催して、内容を詰めることとなりました。
- ②新規事業について
⇒現行の「ネパールフェスタ」や「楽市」は収益事業としてではなく、協会活動の普及と会員間のコミュニケーション増進への楽しいイベントと位置付ける。
従って、出店等の参加者は、すべて自前で行うことを条件とする。
⇒法人寄附会員開拓や新規事業開発を目指し、皆で智慧を出し合うこと。

■次回定例会合開催について

- 1月上旬に開催予定です。追って連絡させていただきます。 以上
- 開催場所：立川市柴崎会館 3階 学習室